

がん化学療法委員会

乳腺外科部長(がん化学療法委員会委員長) 杉本健樹

概要

当院では、外来腫瘍化学療法診療料加算(抗悪性腫瘍薬の注射)及び外来化学療法加算(関節リウマチ、クローン病、ベーチェット病、潰瘍性大腸炎等に対する生物学的製剤の注射)の施設基準を満たすためのがん化学療法委員会を毎月開催し、新しく申請されたレジメンの審査、使用中のレジメンの改定、特定の化学療法レジメンを施行するに当たって発生した問題の解決、化学療法施行に当たって発生した病院システムの問題点の検討を行ない立案、決定している。

I. 構成メンバー

委員長 1 名(乳腺外科医)、呼吸器内科医 1 名、消化器内科医 1 名、消化器外科医 1 名、血液内科医 1 名、泌尿器科医 1 名、薬剤部薬剤師 1 名、看護部看護師 2 名、臨床栄養部管理栄養士 1 名

オブザーバーとして以下

薬剤部薬剤師 1 名、看護部看護師 1 名、医事課 1 名、電子カルテ管理課 1 名。

II. 活動内容

1. 新規レジメンの検討
2. レジメン改訂の検討
3. がん化学療法実施運用方法の検討
4. 安全対策の立案
5. がん化学療法看護・院内認定看護師育成コース(講義)の開催

III. 2025 年 1 月～12 月の活動報告

- 1) 第 5 回がん化学療法看護・院内認定看護師育成コース(講義)開催中

(責任者：塚本がん薬物療法看護認定看護師)

外来がん化学療法件数増加、入院施行のがん化学療法件数増加への対応として、がん化学療法看護の知識を持つ看護師の増加を図る目的で「院内認定看護師育成コース」講義(医師/薬剤師/看護師/栄養士/リハビリ士/ソーシャルワーカーによる)を 2025 年 8 月から開始している。現在 5 名が受講中である。

本コースは第 1 回コースが 2020 年 10 月に開始され、その後新型コロナウイルス感染拡大による中断をはさみながら、2024 年までに 4 回開催され計 16 名の院内認定看護師が誕生した。

- 2) 委員長の交代

田中前委員長の退任に伴い、2025 年 9 月より乳腺外科杉本部長ががん化学療法委員会委員長に着任した。

- 3) がんサポート早期介入プロジェクトの開始

当院の外来化学療法室である化学療法センターでは、前身となる点滴センターの時代である 2019 年よりがんサポート介入として浅羽医師による漢方外来ならびに管理栄養士による栄養指導が開始されていた。これによりがん患者における QOL 維持が図られていたが、症状が出てからの介入となっている現状や活動の範囲が化学療法センターを利用する患者に限定されていることが課題として挙げられていた。そこで、がん治療に伴う栄養障害出現や進行の予防を目指してがん治療の早期から看護師、薬剤師、管理栄養士による多職種がんサポート介入を行う取り組みを 2025 年 8 月から開始した。まずは胃癌、胆道癌、膵臓癌の手術症例を対象とし、取り組み開始後の運用状況に応じて対象症例の拡大を図っていくこととなった。

4) 近森病院・化学療法運用マニュアル第 5 版への改訂

2015 年 2 月に第 4 版へ改訂された近森病院・化学療法運用マニュアルを、前回改訂から約 10 年が経過した 2025 年 8 月に改訂した。

5) がん薬物療法看護院内リンクナース会の立ち上げ

2025 年 12 月に塚本主任看護師より看護師同士のがん薬物療法に関する情報共有やレベルアップを目的としたリンクナース会の立ち上げについて提案があり承認された。2026 年度の活動開始を目指し、体制整備を行っている。

IV. レジメン検討・登録

当院では、外来化学療法加算の施設基準を満たすがん化学療法委員会を毎月開催し、新しく申請されたレジメンの審査、使用中のレジメンの改定を行っている。

新規登録レジメンは以下の通りである。

- ① mFOLFOX6+ハーセプチン併用療法（胃癌）：HER2 陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃がんに対する化学療法レジメンとして
- ② mFOLFOX6 療法（胃癌）：治癒切除不能な進行・再発の胃がんに対する化学療法レジメンとして
- ③ マイロターゲット単独療法（急性骨髄性白血病）：再発又は難治性の CD33 陽性の急性骨髄性白血病に対する化学療法レジメンとして
- ④ R-CEPP 療法（悪性リンパ腫）：非ホジキンリンパ腫に対する化学療法レジメンとして
- ⑤ R-CEOP 療法（悪性リンパ腫）：非ホジキンリンパ腫に対する化学療法レジメンとして
- ⑥ ダラキューロ+Pd 療法（多発性骨髄腫）：再発・難治性の多発性骨髄腫に対する化学療法レジメンとして
- ⑦ ダトロウェイ単独療法（乳癌）：化学療法歴のあるホルモン受容体陽性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌に対する化学療法レジメンとして
- ⑧ フェスゴ単独療法（大腸癌）：HER2 陽性かつ RAS 遺伝子変異陰性のがん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に対する化学療法レジメンとして
- ⑨ パクリタキセル単独療法 tri-weekly（小細胞肺癌）：小細胞肺癌の 2 次治療以降に対する化学療法レジメンとして
- ⑩ オプジーボ+カボメティクス併用療法（腎細胞癌）：根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対する化学療法レジメンとして
- ⑪ オプジーボ+ゲムシタビン+シスプラチン併用療法（尿路上皮癌）：化学療法未治療の根治切除不能な尿路上皮癌に対する化学療法レジメンとして
- ⑫ イミフィンジ単独療法（小細胞肺癌）：化学療法歴のない進展型小細胞肺癌の白金製剤併用療法後における維持療法レジメンとして
- ⑬ R-MPV 療法（悪性リンパ腫）：中枢神経原発悪性リンパ腫に対する化学療法レジメンとして
- ⑭ Isa+VRd 療法（多発性骨髄腫）：未治療の多発性骨髄腫に対する化学療法レジメンとして
- ⑮ ダウノマイシン+キロサイド+ヴァンフリタ併用療法（急性骨髄性白血病）：急性骨髄性白血病に対する化学療法レジメンとして
- ⑯ キイトルーダ+ハーセプチン+XELOX 併用療法（胃癌）：HER2 陽性かつ CPS $\geq$ 1 の治癒切除不能な進行・再発の胃がんに対する化学療法レジメンとして
- ⑰ キイトルーダ+ハーセプチン+SOX 併用療法（胃癌）：HER2 陽性かつ CPS $\geq$ 1 の治癒切除不能な進行・再発の胃がんに対する化学療法レジメンとして
- ⑱ キイトルーダ+ハーセプチン+FP 併用療法（胃癌）：HER2 陽性かつ CPS $\geq$ 1 の治癒切除不能な進行・再発の胃がんに対する化学療法レジメンとして
- ⑲ イムデトラ単独療法（小細胞肺癌）：がん化学療法後に増悪した小細胞肺癌に対する 3 次治療以降のレジメンとして
- ⑳ オプジーボ+ヤーボイ併用療法（肝細胞癌）：切除不能な肝細胞癌に対するレジメンとして
- ㉑ 【2 週毎】オプジーボ単独維持療法（肝細胞癌）：切除不能な肝細胞癌に対してオプジーボ+ヤーボイ併用療法を投与後の維持療法レジメンとして

- ②② 【4 週毎】 オプジーボ単独維持療法（肝細胞癌）：切除不能な肝細胞癌に対してオプジーボ＋ヤーボイ併用療法を投与後の維持療法レジメンとして
- ②③ エプキンリ単独療法（濾胞性リンパ腫）：再発又は難治性の濾胞性リンパ腫（Grade1～3A）に対する化学療法レジメンとして
- ②④ ルンスミオ単独療法（濾胞性リンパ腫）：再発又は難治性の濾胞性リンパ腫（Grade1～3A）の 3rd line 以降に対するレジメンとして
- ②⑤ 【術後補助】 5-FU+1-LV 併用療法（大腸癌）：StageIII の結腸癌における術後化学療法レジメンとして
- ②⑥ アザシチジン＋ティブソボ併用療法（急性骨髄性白血病）：急性骨髄性白血病に対する化学療法レジメンとして
- ②⑦ タービー単独療法（多発性骨髄腫）：再発又は難治性の多発性骨髄腫における 4 次治療以降のレジメンとして